



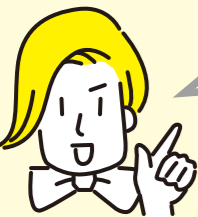
この季節は意外と紫外線の量が多いんだって。イヤになっちゃうわ。



そうですね。でも博士、そもそもどうして、色があせてしまうのですか。



しかも全体に薄くなるのじゃなく、ヘンな色になってしまうの？



だから、印刷物から黄色と赤色だけが抜けてヘンな色になってしまうのですね。

おやおや、紫外線が気になるといえば、印刷物も同じじゃぞ。



看板でもポスターでも屋外の印刷物は色が変わってしまうことがあるからね。

う〜ん、少し専門的になるが、君らも知っているように、ほとんどの印刷は、CMYKの4色で刷られるじやろ。そのうち、C(シアン)とK(ブラック)に使う顔料は分子レベルでの結合が強く、紫外線によって破壊されにくいのに、Y(イエロー)とM(マゼンタ)は結合が弱いので、色あせしやすいという訳じや。



でも、耐光性印刷なら、色あせや変色はある程度防げる。屋外に貼る選挙ポスターなどはほとんど耐光インキで刷られておるぞ。

耐光性印刷とは

退色の主要な原因となる紫外線に弱いイエローとマゼンタのみ、耐光インキを使用した印刷のことで、屋外では通常のインキならわずか数週間で色あせてしまうのに対し、耐光インキなら条件にもよるが半年や1年経ってもほとんど変色しないケースもある。

そのとおりじゃ!そこで、メーカーは、耐熱性、耐アルコール性、耐アルカリ性など、さまざまな気候の変動に強い紙やインキを研究・開発しておるのじゃ。



これら、屋外で使用することを前提としたインキを「耐候性インキ」と呼ぶこともあるぞ。

でも屋外に貼る印刷物なら、光に強いだけでなく雨や風にも耐えてくれないとね。



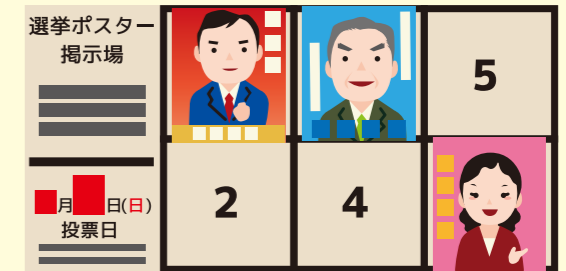
へえ〜、そうなんだ。



なるほど。「耐光性」の進化系が「耐候性」ということですね。



私もちゃんとお肌の紫外線対策しなくっちゃ。



木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献します。



日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111 www.nipponpapergroup.com



こだわりをカタチにする印刷会社

パッケージ印刷・UVオフセット印刷・商業印刷



安定品質を目指して
印刷濃度管理システムを導入!!

www.sakudo.co.jp

作道印刷株式会社 TEL.072-963-6339
〒578-0921 大阪府東大阪市水走 1-12-20 FAX.072-963-4013